

2014年10月20日

報道各位

住友金属鉱山株式会社

二次電池用正極材料（ニッケル酸リチウム）増産について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長 中里佳明）は、車載用二次電池の需要拡大に対応するために、二次電池用正極材料であるニッケル酸リチウムの生産設備の増強投資を行うことといたしました。

世界の自動車市場においては、電気自動車、ハイブリッド車などの省エネルギー対応車種の販売が急速に拡大しています。そうした中、電気自動車のさらなる普及のためには、長距離走行が可能な車両の開発が求められており、高性能の二次電池の開発が不可欠となっています。

当社は、パナソニック株式会社（以下、「パナソニック」）と共同で二次電池用正極材料の一つである高性能のニッケル酸リチウムの開発に成功し、パナソニックに提供してまいりました。このニッケル酸リチウムを使用したパナソニック製の円筒型リチウムイオン二次電池は、米国の電気自動車メーカーであるテスラモーターズ社が製造・販売しているプレミアム4ドアセダン「モデルS」に採用されており、需要はさらに増加すると見られています。

こうした中、当社は今後のニッケル酸リチウムの需要拡大に対応するために、磯浦工場（愛媛県新居浜市）他でニッケル酸リチウムの生産設備の増強を行うこととしました。設備投資額は総額約150億円で、2015年12月完成を予定しています。

これにより当社のニッケル酸リチウムの生産能力は、現在の850トン/月から1,850トン/月に増加します。

当社は、ニッケル原料鉱石の製錬から加工までを一貫して手掛けている強みを活かし、二次電池用正極材料のさらなる高性能化と安定供給に取り組んでまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

広報 IR 部 高橋 雅史

TEL : 03-3436-7705

FAX : 03-3434-2215